

## 自分 学級 比べて6月は、1学期のヤマ場 授業

6月は、1年間の軸を据える月 5月27日 生徒会より

5月22日、修学旅行出発の日の朝7時。

運動場では、全員の整列と学級委員による点呼は、すでに終わっていました。

東先生の方から「ここから来る者は遅刻です」と厳しい口調で宣言されました。その後に来た2名は隊列の中にはそのまま入りませんでした。

私は、この段階でこの修学旅行は成功する、みんながエンジョイできて、思い出に残る修学旅行になると確信しました。



宿について1日目の夕食時です。6時に食事です。最初に食堂に入ってきた人は5時50分。最後に食堂に入ってきた人が5時55分でした。

11時には宿全体が静かになったので私は寝ました(先生方は、万が一もありますから、ずっとおきておられました)。



明くる日の朝、宿のご主人は「こんなに、よく挨拶して、生徒達が自分達で動いている学校は初めてです」とおっしゃいました。



さて、6月は「教育月間」といって、この1年間の自分や学級や授業において大きく成長する、そのための軸を据える月です。

軸とは、もどるべき場所です。これから1年間、自分にはいろんな事があり、時には自分に自信が持てなくなる時があるかもしれません。また、悲しくなったり、苦しくなったりする時があるかもしれません。そ



んな時に、本当は「自分はどんな自分になりたい」と思っていたのか=これが軸です=を持っている人は強いです。 しんどいことがあっても、逆にそれが自分をさらに、やさしく強い人間にする機会となるのです。

それは、学級や授業でも同じなのです。 4月にこんな学級を作ろうと学級目標を決めても、学級がそれとは違う学級になることはよくあります。 いえ、きっとそれが普通の学級の姿であろうと思います。 その時に、本当に「こんな学級にしたいという学級」とは何なのか！？ そんな『本当の学級の姿=軸』を持っている学級は強いです。

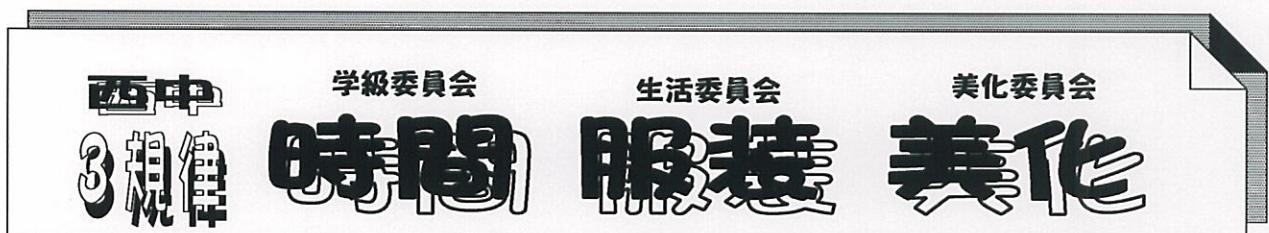
そして、その軸を据える月がこの6月なのです。

だから、生徒会の月間目標も「仲間のいいところを見つけよう」となっているのです。 この目標には、とても深い意味があります。



それでは、月間目標である「仲間のいい所を見つけよう」を1つでも実現するため、校外学習・修学旅行後の6月に、一人ひとりが、学級が、授業が 大きく成長する、そんな軸をしっかりと据える、そんな月になるようにしてください。

そして、そのためにも、その土台となる時間・服装・美化の3規律をしっかりと固めるこ<sup>とも</sup>怠らないようにしてください(3規律は3委員会の役割=責任領域です)。



※ 「方向感覚」(今、何をする、してはならない)を入れて、4規律という場合もあります。



1年校外学習(万博)



2年校外学習(神戸)

